

所在地／〒230-0046 横浜市鶴見区小野町6

TEL／045-511-3654

学校長／藤本 貴也

創立／横浜市立横浜サイエンスフロンティア
高校の附属中学校として、2017年4
月に開校。

URL／www.edu.city.yokohama.jp/school/jhs/hs-sf

	1年	2年	3年
男子	50名	50名	39名
女子	30名	30名	41名
クラス数	2組	2組	2組

中高総生徒数／940名



〈交通アクセス〉

JR鶴見線「鶴見小野」駅より徒歩3分

京浜急行線「花月総持寺駅」より徒歩17分

JR京浜東北線「鶴見」駅より徒歩20分

「科学の力」を持つ次代のグローバルリーダーを育成

併設の横浜市立横浜サイエンスフロンティア高校は、スーパーサイエンスハイスクール（SSH）の指定校で、横浜市の進学指導重点校にも名を連ねています。2017年4月に開校した併設型の附属中学校も、論理的思考力を持つグローバルリーダーの育成を目標としています。そのため、広く深く学問に親しむことを大切に、授業にも先鋭的な科学知識に基づく知恵や技術を活用。同時に人間性や感性、世界に通用するコミュニケーション能力も練磨し、次代を見据えた質の高い教育を行っています。

スクールライフ

●教育内容

中学を「基盤形成期」、高校を「充実発展期」と定義。中学段階では過度な先取りに走るのではなく、授業の内容をより深める「DEEP学習」を行います。これは英語の「考察・討議」「実験」「体験」「発表」の頭文字を取ったもの。名前のとおり、みずからの頭と体を動かしながら、周囲と深く学び合うことを目的としています。さらに、総合的な学習の時間には、自然科学や社会科学を核とした課題探究型の学習「サイエンススタディーズ」を実施し、読解力・情報活用力・課題設定力・課題解決力・発表力の5つの力を育成します。

3年間の授業時間数は、標準時数と比べて国語と数学で140時間、英語で105時間、理科で35時間多く確保。しっかりと学力を養いながら、部活動や行事、講座などを通して高校生と触れ合うことで、組織的に動くことやリーダーシップなどを学びます。

●部活動

横浜サイエンスフロンティア高校にある部活動のなかから、文化部11、運動部6が活動しています。平日は週3回、休日は土・日のどちらか半日で、年間を通して18時までの活動です。部活動は1年ごとに更新するので、毎年同じではありません。

○文化系／音楽、棋道、天文、写真研究、文芸、数学物理、理科調査研究（休部中）、航空宇宙工学（休部中）、情報工学（高校）、ロボット探究、美術

○体育系／硬式テニス、バドミントン、バレーボール、水泳（高校）、陸上競技、バスケットボール（高校）

●行事

高校では5月に体育祭を、9月に蒼煌祭（文化祭）を実施。中学でもこれらのプログラムに参加します。

25年の募集要項

※以下は2025年の募集要項です。2026年の要項は横浜市教育委員会の発表をお待ちください。

検査日／2月3日

募集人員／男女80名

合格発表／2月10日

手続締切／2月11日

選抜方法／適性検査Ⅰ・Ⅱ(各45分)、調査書

面接／なし

受検料／2,200円

公開行事・説明会予定

【学校説明会】

7月19日(土)

7月20日(日)

【志願者説明会】

11月 8日(土)

【蒼煌祭(文化祭)】

9月 6日(土)

9月 7日(日)

【オープンスクール】

11月15日(土)

◆変更・中止の可能性もあります。必ず学校ホームページで確認してください。